

事務事業名		簡易水道送配水管等施設整備事業		☒ 実施計画掲載事業 ☐ 総合戦略掲載事業																																
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間																																
	施策名	良好な生活空間の創造		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 14 年度～) ☐ 期間限定複数年度【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入																																
	基本事業名	上水道・簡易水道の整備		予算科目 会計 16 款 01 項 01 目 02 事業 04 事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)																																
根拠法令		水道法																																		
所属	部課名	都市整備部簡易水道事業所																																		
	課長名	千葉 洋一																																		
	係名	簡易水道係	電話	0192-27-3111																																
	担当者	橋本 邦彦	内線	172																																
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 道路改良工事の施工区間において、道路線形及び縦断計画の変更に伴い、現道に埋設されている簡易水道送配水管の計画路線への布設替えや、工事により支障となる簡易水道送配水管の布設替え、消火栓の設置・移設・修繕及び住宅建築等により地域から新たに配水管の延伸を要望された箇所への配水管布設を行なう事業である。																																				
全体計画(※期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td>事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>財源内訳</td> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>						総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金		財源内訳	都道府県支出金			地方債			その他			一般財源			事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数			延べ業務時間			人件費計(B)	0		トータルコスト(A)+(B)	0
総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金																																		
	財源内訳	都道府県支出金																																		
		地方債																																		
		その他																																		
		一般財源																																		
		事業費計(A)	0																																	
	人件費	正規職員従事人数																																		
	延べ業務時間																																			
	人件費計(B)	0																																		
	トータルコスト(A)+(B)	0																																		

sikou

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)		
前年度実績(前年度に行った主な活動)		
(事業実績なし)		
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		
送配水管の布設、消火栓(設置・移設・修繕)工事		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		
布設替が必要な送配水管 新規布設が必要な配水管		
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		
現道に埋設されている送配水管の布設替及び新規に布設が必要な配水管の布設を行なう。		
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)		
住みやすい生活環境になる。		
⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		
名称		単位
ア	送配水管布設延長	m
イ	消火栓設置	基
ウ		
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)		
名称		単位
カ	切替が必要な送配水管	m
キ	新規布設が必要な配水管	m
ク		
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		
名称		単位
サ	切替が完了した送配水管延長	m
シ	新規に布設した送配水管延長	m
ス		

(2) 総事業費・指標等の推移										
			年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	
			単位							
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円				144,000	144,000	145,000
			その他	千 円	462	1,179		5,000	5,000	5,000
			一般財源	千 円						
			事業費計 (A)	千 円	462	1,179	0	149,000	149,000	150,000
	人件費	正規職員従事人数	人	1	2	0	1	1	1	
		延べ業務時間	時 間	40	112	0	100	100	100	
		人件費計 (B)	千 円	160	448	0	400	400	400	
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	622	1,627	0	149,400	149,400	150,400	
⑤活動指標			ア	m	98,517	98,517	98,517	98,517	98,517	
			イ	基	230	247	247	247	247	247
			ウ							
⑥対象指標			カ	m	-	30	-	1,850	1,850	1,864
			キ	m	-	-	-	-	-	-
			ク							
⑦成果指標			サ	m	-	30	-	1,850	1,850	1,864
			シ	m	-	-	-	-	-	-
			ス							

事務事業ID	0711	事務事業名	簡易水道送配水管等施設整備事業
--------	------	-------	-----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

県道及び市道に簡易水道送配水管が埋設されている区間において、道路改良工事等により管理上布設替えが必要となった箇所で行なうこととなった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

道路嵩上げ等の復興関連工事に伴い、布設替えを要する場合、担当課との調整が必要になってきている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

過去に、越喜来字井戸洞と吉浜字増館の住民から、議会を通じて水道本管布設の要望が寄せられたことがある。既存管からの分岐距離が長く、住宅戸数も少ないため、布設できないことを回答している。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 簡易水道施設の整備は、安全な水を安定的に供給することにつながり、その結果、快適な都市環境の整備につながる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 上水道の整備は水道法で定められた地方公共団体の義務であり妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 他事業である道路改良工事に伴い発生する送配水管の布設替え及び地域の要望に基づいた配水管の布設であり、対象は限定されている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 現在使用されている送配水管の布設替え及び地域要望があった区間の配水管布設であり、成果の向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 事業を廃止・休止すれば道路改良工事等への支障とともに、配水管が布設されないために給水できない家庭が残される。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 既設送配水管の布設替え及び新規の配水管布設は工法が限られるため、削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の人数で対応していることから、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 簡易水道使用者から給水負担金及び水道料金を徴収しており、負担は適正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果	
① 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止		左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)	
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等			
引き続き復興関連の情報収集に努め、関係部署と協力しながら事業を継続していく必要がある。			

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		●	×
	低下		×	×

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	道路改良工事等に伴う配水管の布設替えについて、関係機関と協議し、地域の理解を得ながら実施していく。